

針刺し事故防止

MEDICAL PRODUCT INFORMATION

針刺し切創事故防止対策に

針刺し事故を防ぐために、適切な廃棄容器を検討する必要があります。廃棄容器の基準として下記のような条件があげられます。また、使用後から廃棄まで血液・体液暴露防止対策を行っていかねばなりません。

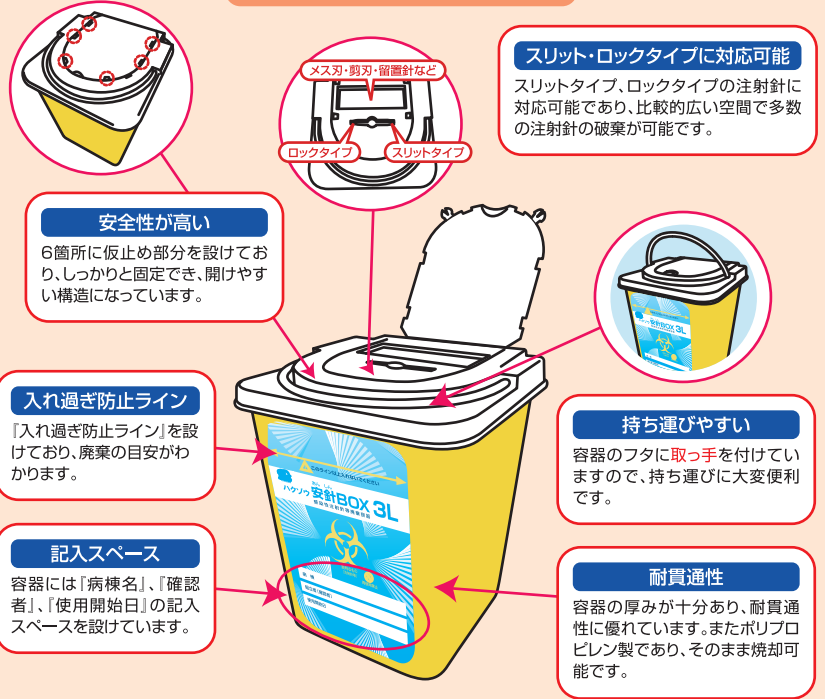
適切な廃棄容器の基準

- 耐貫通性の素材
- 使用用途に応じた形状になっている
- 廃棄時に再びフタが開かない構造



ハクゾウ安針BOX® 3L
感染性注射針等廃棄容器

製品特長



「ハクゾウ安針BOX」使用方法

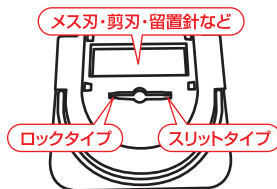
血液等が付着していなくても鋭利な物は「感染性廃棄物」として廃棄します。

フタの取り付け方



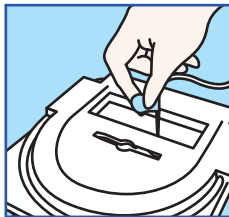
図のような状態にして、フタをカチッと音がするまで閉じます。組み立てた人は日付けとサインを記入します。

各部の使用法



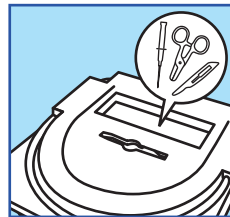
廃棄方法

①翼状針



翼状の部分をしっかり持って四角の穴に落としラインを切断、又は外します。

②メス刃・剪刃・留置針など



コッフェルのように長いものは四角の穴に落とし廃棄します。注射針をシリンジごと捨てる場合についても四角の穴に捨てます。

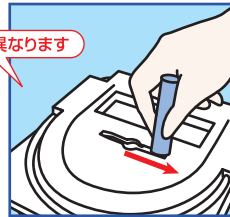
③注射針(ロックタイプ)



真ん中の穴に差し込み、「ロックタイプ側」に針基をセットして、シリンジを回転させながら外していきます。

針の外し方が異なります

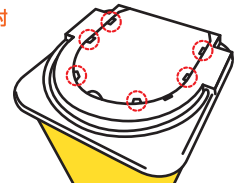
④注射針(スリットタイプ)



真ん中の穴に差し込み、「スリットタイプ側」に持っていき、そのままスライドさせて針を外します。

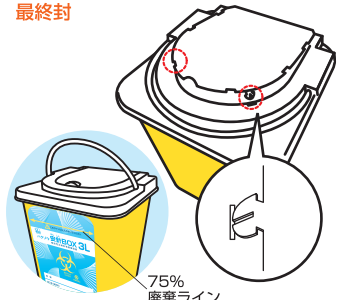
仮封・最終封

仮封



一時使用しない場合や容器を動かす場合には仮封をします。カチッと音がなるまでとめる。仮止めは6箇所あります。

最終封



矢印のラインまで針を入れたら、最終封をします。この場合は、ツメを折り曲げて穴に差し込みしっかりと封をします。カチッと音が出るまでツメを差し込みます(仮止め6箇所とめる)。廃棄は本容器ごと廃棄します。